

enocoのそうだん [eno so done!]

相談シート01 創造的過疎で人口減少と高齢化に取り組む

[トップ](#) >> [enocoのそうだん \[eno so done!\]](#) >> 相談シート01

アドバイザー

大南 信也 (NPO法人グリーンバレー理事長)

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学院修了。90年代の初頭より神山町国際交流協会を通じて「住民主導のまちづくり」を展開。98年米国生まれの道路美化プログラム「アドプト・ア・ハイウェイ」を全国に先駆けて実施するとともに、「神山アーティスト・イン・レジデンス」などのアート事業を相次いで始動。07年より神山町移住交流支援センター受託運営を開始し、11年度神山町史上初となる社会動態人口増を達成するなど、過疎化の現状を受け入れた「創造的過疎」を持論に各種まちづくり事業を展開中。

→ <http://www.in-kamiyama.jp/gv/>



相談者

大阪府千早赤阪村地域振興課

相談分野 (キーワード)

地域活性

市民協働

観光

まちづくり

文化

広報・PR

その他

主な相談内容

大阪府内の他地域と比べても、人口減少・高齢化が進んでおり、人口の維持と地域活性化を進めていかなければならないが、どのように進めていくべきか悩んでいる。

Q 1

人口減少に歯止めをかけたが、元々の住民が外に出ていかないようにする工夫はないか？

A 1

日本中で高齢化が進む中、人口を増やすのは難しいので、年齢構成など内容を変えることが重要。このため神山町では、人ありきの移住政策に取り組み、「ワーク・イン・レジデンス」を実施している。これは、神山町が必要な働き手を呼び込むために、欲しい人材を逆指名するもの。例えばパン屋が必要であれば、パン屋のスキルを持った人を家・土地付きで募集する。地域にとって必要な人材が、仕事ごと神山にやってくるというイメージ。仕事を持ってきてくれることで、移住者の定着率が高まる。

Q 2

行政の取り組みだけでは限界がある。地域のキーパーソンを見つけたいが、見つけ方がわからない。

A 2

キーパーソンは必ずいる。地域で信頼されている人を探すこと。そのための作業を辛抱強くやることです。最初は見つからなくとも、面白い取り組みを行っている人が集まってきて、必ずキーパーソンに行き当たります。また「過疎」はマイナス面だけでなく、人がつながりやすい、キーパーソンを見つけやすいといったメリットもある。

Q 3

人を惹き付ける地域にするために、必要なことは何か？

A 3

村の情報、特に村人の情報が手に入り、交流できる場（カフェやパブのような機能）をつくることが重要（神山町にはその機能をもつ場所が複数ある）。そこに行けば、キーになる人と出会うきっかけを得られる場があるということが大切。また地域活性化を成功させる鍵は、小さなことで良いので複数の人間が同時に成功体験をすること。前例のないことは、時代の歯車を廻すチャンス。「とにかく始める」こと。

相談者の声

神山町での移住策は、行政・住民・NPO等全体の連携が上手に取れており、理想的な形であると感じた。ヒントになるアドバイスを多数いただけて有意義だった。

アドバイザーの声

実際に町の空気や雰囲気を感じることが重要な気がします。例えば何人か（10名以内）で二日間くらいをかけて、じっくりと神山町を巡ってみてください。話を聞いただけでは分からないことが見えてくると思います。

サイトポリシー・
プライバシーポリシー

指定管理者

バナー広告募集

> enocoについて

> 事業紹介

> フロアガイド

> レンタルスペース

> お知らせ・プレスリリース

> メルマガ登録

> ニュースレター

> お問い合わせ

> アクセス

いいね! 0

ツイート

